１．　環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼№	2	事例№	1	依頼者	豊山町生活福祉部住民課 環境保全グループ	実施場所	豊山町立新栄小学校
実施対象	小学 5 年生　31 名						
実施日時	令和 7 年 10 月 8 日（水）　13 時 50 分～14 時 35 分						
テーマ	川に親しみ、川を理解し、川を守り、川の水質をよくすることに関心を持つきっかけをつくる。						

●依頼内容

大山川に生息する「指標生物」の採取や川の水質を判定する「水生生物調査」等の調査を実施し、それをふまえた講義を施してほしい。実際の生物を見たりふれたりできるようにしてほしい。

●講師：清水康生 氏（一般財団法人 水・地域イノベーション財団）

清水氏は、身近な「川」の見方を学ぶ、小学生（5.6 年）、中学生、高校生、ＮＰＯを対象とする学習講座の講師の実績がある。

●授業の内容

座学	川の「見方」を学ぶ	講義は、身近な水辺である大山川の見方を学ぶことをテーマに行われた。はじめに、大山川の歴史や流域、どんな生きものが棲んでいるかについて学んだ。次に、大山川をはじめとする水辺が健全であるかどうかを評価するための 5 つの指標と 20 の視点（環境省「水辺のすこやかさ指標」）について学んだ。また、5 つの指標のうち、「水のきれいさ」（水質）を調査する方法（COD パックテスト）とその結果の判断基準について学んだ。	20 分
実習	川の環境を調べる	大山川から事前に採取した水を使って、「水のきれいさ」を計測する簡易測定（COD パックテスト）を体験した。子どもたちは班に分かれ、測定手順を確認しながら、検査キットを使って川の水の COD 測定を行った。結果が出たら、3 段階で「水のきれいさ」を評価し、「観察ノート」に記入した。	25 分

●授業の様子

講義では、大山川の様子やそこに生息する魚について、たくさんの写真を使って説明が行われ、子どもたちは集中して話を聞いていた。「水のきれいさ」を計測する COD パックテストの実習では、班のメンバーで協力し、意見を交わしながら実験と結果の判定を行い、「観察ノート」にまとめていた。実習終了後、子どもたちからはたくさんの質問が出され、講師はひとつひとつていねいに答えていた。最後に、講師から、川にはひとりで行かない、水かさが多いときには川に入らない、裸足で川に入らないなど、川に行くときの注意点を守ってほしいと呼びかけられた。

大山川の概要と「水辺のすこやかさ指標」について学んだ。



「水のきれいさ」を計測する COD パックテストを体験した。

